

宮崎大学教育文化学部・教育学研究科

平成 27 年度外部評価委員会報告書

宮崎大学教育文化学部・教育学研究科・外部評価委員会
平成 28 年 3 月

宮崎大学教育文化学部・教育学研究科 平成 27 年度外部評価委員会委員名簿

委員長：長	崎	大	学	教	育	学	部	長	藤	木	卓														
委員：宮	崎	市	教	育	委	員	会	学	校	教	育	課	長	松	竹	妙	子								
委員：宮	崎	県	教	育	庁	学	校	政	策	課	義	務	教	育	担	当	主	幹	日	高	淳	一	郎		
委員：宮	崎	県	教	育	庁	学	校	政	策	課	義	務	教	育	担	当	指	導	主	事	柚	木	山	尚	未
委員：連	携	協	力	校	小	学	校	代	表	宮	崎	市	立	西	池	小	学	校	長	齊	藤	正	利		
委員：連	携	協	力	校	中	学	校	代	表	宮	崎	市	立	宮	崎	西	中	学	校	長	松	尾	和	彦	
委員：全	国	国	立	大	学	附	属	学	校	PTA	連	合	会	監	事	久	保	眞	司						

平成 27 年度 宮崎大学教育文化学部・教育学研究科外部評価委員会概要

日 時：平成 28 年 2 月 23 日（火）10：00～12：00

場 所：教育文化学部 AL-A 教室（または AL-B 教室）

出席者

委員

委員長：長崎大学教育学部長	藤木 卓
委員：宮崎市教育委員会学校教育課長	松竹 妙子
委員：宮崎県教育庁学校政策課義務教育担当主幹	日高 淳一郎
委員：宮崎県教育庁学校政策課義務教育担当指導主事	柚木山 尚未
委員：連携協力校小学校代表 宮崎市立西池小学校長	齊藤 正利
委員：連携協力校中学校代表 宮崎市立宮崎西中学校長	松尾 和彦
委員：全国国立大学附属学校 PTA 連合会監事	久保 眞司

宮崎大学から

添田学部長、幸研究科長、中山評価担当副学部長、米村教務担当副学部長、
三輪研究担当副学部長、河原附属学校園統括長、
新地附属教育協働開発センター長、菅教職実践開発専攻長、
戸ヶ崎学校教育支援専攻長、塚本学校教育課程委員長、
入谷人間社会課程委員長

委員会次第

1. 開会の辞
2. 学部長挨拶
3. 出席者紹介
4. 議長紹介
5. 学部概要の説明および質疑応答
（自己点検評価委員会 中山 迅）
6. 学校教育支援専攻概要の説明および質疑応答
（自己点検評価委員会 戸ヶ崎 泰子）
7. 教職実践開発専攻概要の説明および質疑応答
（自己点検評価委員会 菅 裕）
8. 講評（外部評価委員）
9. 閉会の辞

評価項目及び評価のポイント

平成 26 年度の学部・研究科の自己評価報告書を中心とする資料について大学側から説明し、委員から意見をもらった。

平成 26 年度自己評価報告書の項目

1. 教育活動
教育活動の状況、教育成果の状況、学生支援の状況と効果、改善のための取組
2. 研究活動

研究活動の状況、研究成果の状況、改善のための取組

3. 社会連携・社会貢献活動

社会連携・社会貢献活動の状況、社会連携・社会貢献活動の成果、改善のための取組

4. 国際化活動

国際化活動の状況と成果、改善のための取組

5. 附属学校等の業務

附属学校等の業務の状況と成果、改善のための取組

6. 管理運営体制及びその他

管理運営体制及びその他の状況、管理運営体制及びその他の成果、改善のための取組

その他の評価項目

学部改組に向けての取組

評価のポイント

1. 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっているか」
2. 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切であるか」
3. 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされているか」
4. その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされているか」「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされているか」

主な質疑

- 附属学校園と大学とのかかわりについて質問があり学部附属共同研究に予算を投入し、教科等の部会に分かれて取り組んでおり、その研究成果は、附属学校園の公開研究会で発表されたり、学部附属教育協働センター紀要の論文として報告されたりしていることが説明された。これに対して、共同研究のバックボーンがしっかりしているとの評価をいただいた。また、道德教育や小学校の外国語活動についての研究のいっそうの充実を求める意見が出された。
- 宮崎県内の教員における宮崎大学の占有率の現状について質問があり、半数を確保する努力をしていることについて説明を行い、委員からは、宮崎大学の占有率を上げると同時に、地域と大学との連携をいっそう強化することの重要性が指摘された。
- 附属学校教員人事のあり方について質問があり、宮崎県との交流人事で、現在は校長、教頭などの管理職も派遣してもらうようにして附属学校の強化を図っていることが説明された。それに対して、附属学校の教員は管理職に限らず、ある程度の経験を積んだ教員を増やして充実を図ってもらいたいとの要望が、PTA 関係の委員から出された。
- 大学院修士課程(学校支援専攻)における学校心理士の養成や特別支援教育に対応できる教員養成の現状について質問があり、修士課程の枠組みの中での養成の現状についての説明があった。これに対して、特別支援教育に対応できる教員の養成の一層の充実を求める意見が出された。

- 教職大学院における特別支援教育への対応について質問があり、現状の4コースでは特別支援教育に特化した教育は実施しておらず、修士課程(学校支援専攻)でこれに対応している旨の説明がなされ、教職大学院において特別支援教育に対応できるようなコース再編についても検討していることについて説明された。
- 社会問題となっている子どもの貧困への対応についての質問があり、インターンシップ実習や、ある学校区に院生が赴いて児童・生徒を指導する「寺子屋」と呼ばれる取り組みについて説明された。これが大学院生の実践力向上につながるのであればよいことであると評価された。また、教育と貧困の問題に関して、宮崎日日新聞社と附属教育協働開発センターが協力して取り組む体制ができていることについても説明され理解を得た。
- 平成28年度からの改称によってスタートする「教育学部」の発達支援コース・子ども理解専攻の認定こども園への対応の見通しについて質問があり、大学では幼稚園教諭の資格を取れるようにするが、保育士の資格には対応しておらず、学生各自が資格試験を受験して取得するような方針であることが説明された。
- 教員採用試験における厳しい合格状況についての質問があり、附属教育協働開発センターの客員教授による指導などによって充実を図っていることが説明された。
- 宮崎県からの派遣研修生や教職大学院生として、宮崎県内の教員が宮崎大学で半年から1年間学ぶ機会を得ていることによる効果が大きいことについてお礼が述べられた。

① ② ③ ④
 ① とてもそう思う
 ② そう思う
 ③ そう思わない
 ④ まったくそう思わない

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」
- (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」
- (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」
- (4) その他：「新しい時代に必要な資質・能力の育成への対応がなされている」
- (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」

	○		
	○		
○			
	○		
	○		

2 今後、改善を要する事項

次年度は、教育学部への改組がなされる年であります。

宮崎の教育の質の向上が図られるよう、様々な取組の充実を期待しています。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。

・附属学校の取組、現職教員の長期履修、教職大学院での学びの更なる充実を図っていただきたいと考えています。

・何より郷土宮崎の将来を担う有為な人材の育成のため、教員養成の更なる充実をお願いします。

① とてもそう思う
② そう思う
③ そう思わない
④ まったくそう思わない

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」
- (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」
- (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」
- (4) その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされている」
- (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」

	○		
	○		
○			
	○		
	○		

2 今後、改善を要する事項

・教職大学院(現職教員)の派遣研修の一年間のスケジュールは、非常にタイトであるとお聞きしましたが、改善は図られるのでしょうか。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。

国(文科省)は小学校の英語教科化にむけて、全国の大学において、免許取得のあり方、小学校英語(専科)のあり方が研究できるような事業がありますが、委託されたのでしょうか。今後教科化へむけて、県教委と密に連携していければと

- | | | | |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
| と | そ | そ | ま |
| て | う | う | つ |
| も | | 思 | た |
| そ | 思 | わ | く |
| う | | な | そ |
| 思 | | い | う |
| う | | | 思 |
| | | | わ |
| | | | な |
| | | | い |

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- | | | | |
|---|-----------------------|--|--|
| (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」 | ☐ | | |
| (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」 | ☐ | | |
| (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」 | ☐ | | |
| (4) その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされている」 | ☐ | | |
| (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」 | ☐ | | |

	☐		
	☐		
☐			
	☐		
	☐		

2 今後、改善を要する事項

現在の取組の継続により、今後もさらに理論と実践を架橋した教育の充実に努めていただき、教員養成を骨太に行っていただきたい。採用試験対策にウェイトが置かれすぎることがないように願っています。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。

① ② ③ ④
 ① とてもそう思う
 ② そう思う
 ③ そう思わない
 ④ まったくそう思わない

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」
- (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」
- (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」
- (4) その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされている」
- (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」

	○		
	○		
○			
	○		
	○		

2 今後、改善を要する事項

- ・教育の動向、地域の課題を踏まえて教員養成のカリキュラムの改善策を今後とも進めていただきたい。
- ・宮崎大学教育学部の PR を様々な機会、場を通して行っていただきたい。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。

① ② ③ ④
 と そ そ ま
 て そ う た
 も そ う く
 う 思 思 思
 思 う わ
 う ない
 う

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」
- (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」
- (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」
- (4) その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされている」
- (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」

	○		
	○		
○			
	○		
○			

2 今後、改善を要する事項

- ・大学の研究と学部附属研究とのより密接な関わり、つながりを希望したい。
- ・附属学校園の組織、教科定数等について、将来を見通した取組推進をお願いしたい。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。

① ② ③ ④
 と そ そ ま
 て そ う っ
 も う 思 た
 そ 思 わ
 う 思 ない
 う う い

1. 下記の各評価項目について当てはまるものをお選びください。

- (1) 教育活動：「優れた人材育成のための体系的な入試体制及び教育課程の編成になっている」
- (2) 研究活動：「優れた人材育成を遂行するための教員の組織及び個人の研究活動は適切である」
- (3) 社会連携・社会貢献活動：「地域密着型を目指す大学として、社会・地域のニーズに対応した取組みがなされている」
- (4) その他：「新しい時代に必要となる資質・能力の育成への対応がなされている」
- (5) その他：「平成 25 年度外部評価委員会で提起された課題への対応がなされている」

☐			
☐			
	☐		
	☐		
☐			

2 今後、改善を要する事項

地域連携活動のご努力は、平成 25 年度の前回の委員会に比べ格段に向上したと思います。
 今後、尚一層の向上を期待します。

3 その他、ご意見があればお聞かせください。